

RYOBI®

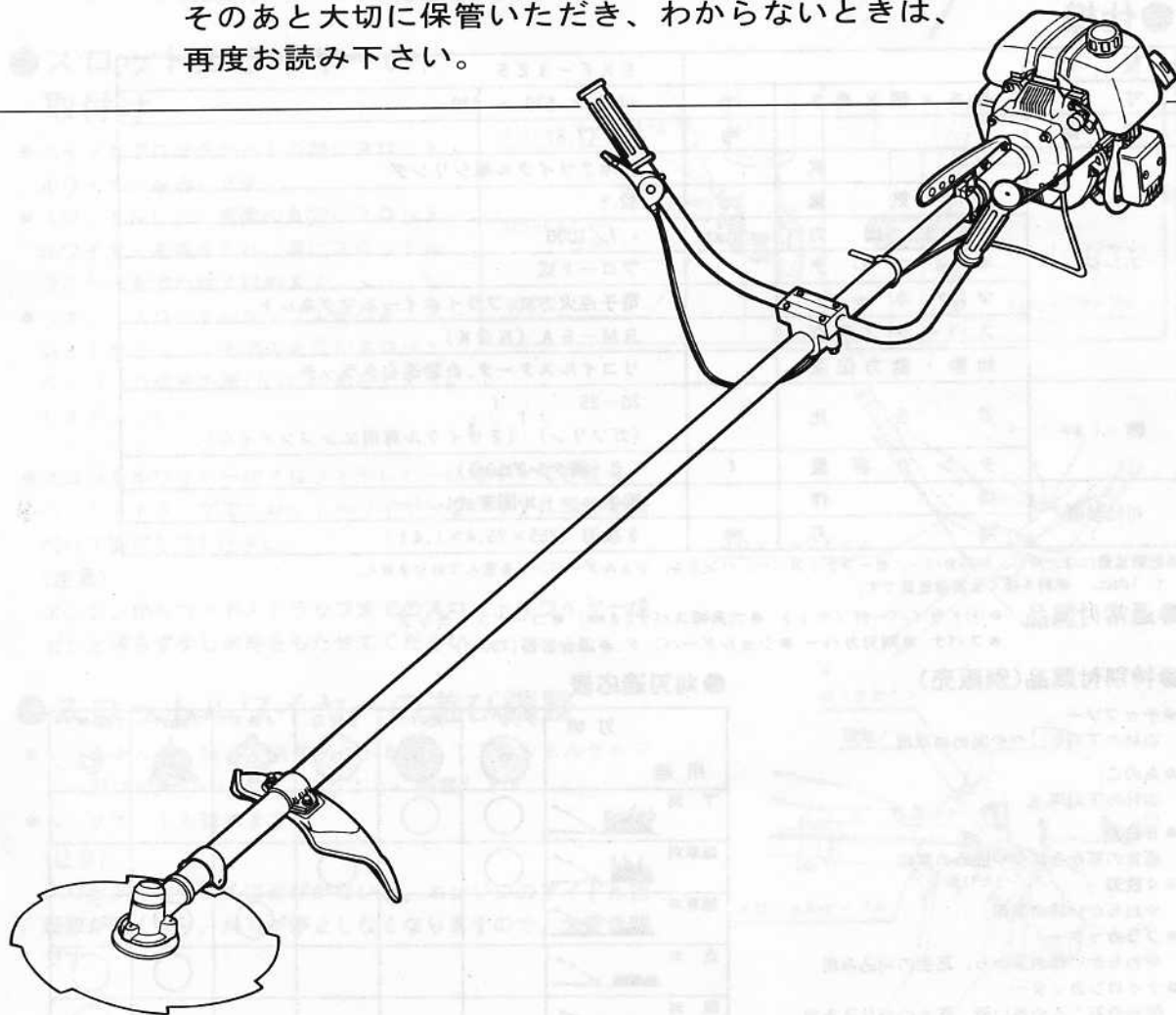
エンジン刈払機

EKF-325

取扱説明書

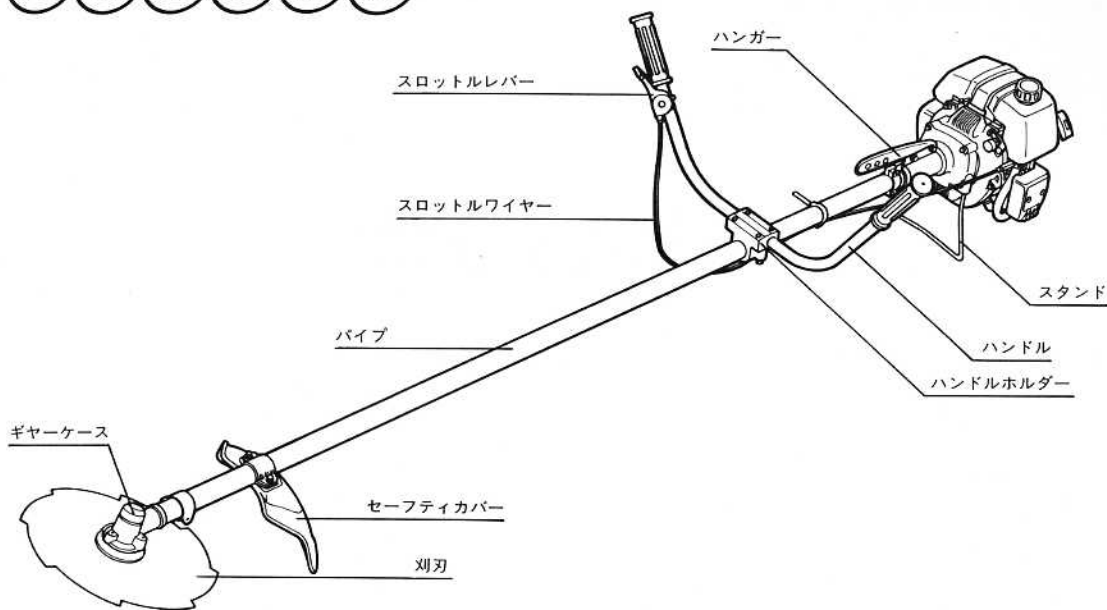
このたびは、リョービエンジン刈払機をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。
そのあと大切に保管いただき、わからないときは、再度お読み下さい。



●改良のため、お断りなく仕様、外観を変更することがあります。

各部のなまえ



仕様

型式			EKF-325
寸法	長さ×幅×高さ	mm	1710×570×420
重量		kg	6.4 (7.8)
エンジン	型式		空冷2サイクル単シリンダ
	排気量	cc	32.5
	最大出力	ps/r.p.m.	1.7/7000
	キャブレタ		フロート式
	マグネット		電子点火方式、フライホイールマグネット
	スパークプラグ		BM-6A (NGK)
	始動・動力伝達		リコイルスタータ、自動遠心クラッチ
燃料	混合比		20~25 : 1 (ガソリン) (2サイクル専用エンジンオイル)
	タンク容量	ℓ	1.0 (満タン約50分)
刈払装置	操作		両手ハンドル固定式レバー
	刈刃	mm	8枚刃 (255×25.4×1.4 t)

※記載重量には、刈刃、刈刃カバー、セーフティカバー、ハンドル、ショルダーバンドを含んでおりません。
()内は、燃料を除く全装備重量です。

- 通常付属品 ●⊕ドライバー付ソケット ●六角棒スパナ(4mm) ●コードストラップ
●スパナ ●刈刃カバー ●ショルダーバンド ●混合容器(700cc)

●特別付属品(別販売)

- チップソー
山林の下刈や、やや固めの草用
- 丸のこ
山林の下刈用
- 8枚刃
通常の草から、やや固めの草用
- 4枚刃
やわらかい緑の草用
- ブラカッター
やわらかい緑の草から、芝生の刈込み用
- ナイロンカッター
際刈や石ころの多い所、芝生の刈り込み用

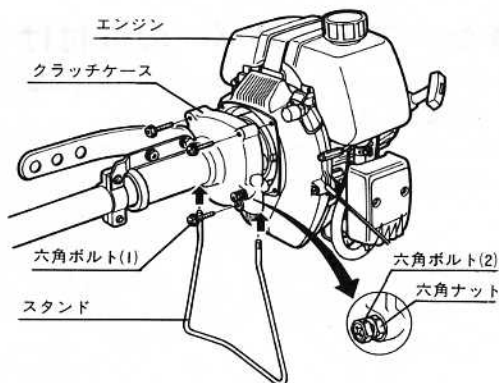
●刈刃適応表

刃物	チップソー	丸のこ	8枚刃	4枚刃	ブラカッター	ナイロンカッター
用途						
下刈	○	○				
雑草刈	○		○			
雑草刈				○	○	
芝刈					○	○
際刈						○

使用準備

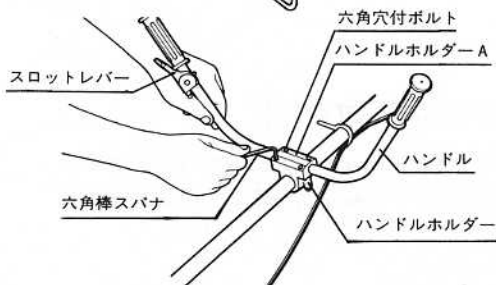
●エンジンとスタンドの取付け

- 六角ボルト(1) 4本を使用し、クラッチケースにエンジンを取付けてください。
- 六角ナットと六角ボルト(2)を緩め、スタンドをクラッチケースの穴に差し込みます。
- 六角ボルトを締付け、六角ナットを右に回してロックしてください。



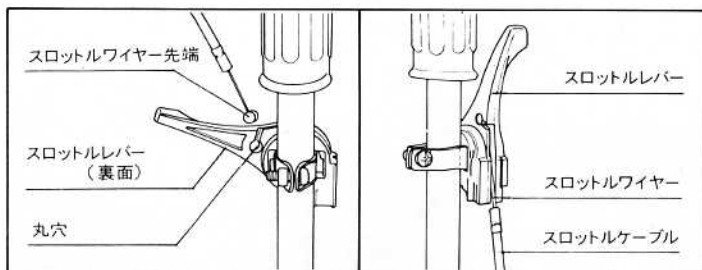
●ハンドルの取付け

- ハンドルホルダーの4本の六角穴付ボルトを緩めてください。(上側のハンドルホルダーAを緩めます)
- ハンドルはスロットルレバーが付いている方を右側にします。
- ハンドルの先を、ハンドルホルダー内部のボスに当るまで入れ、六角穴付ボルトを仮締付けします。
- ハンドルの角度を使い易い位置に調節してから、再度六角穴付ボルトを均等に締付け、ハンドルを固定します。



●スロットルワイヤーの取付け

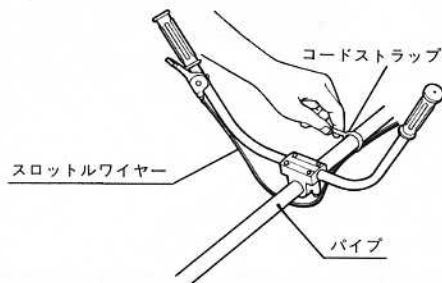
- パイプとプロテクターとの間にスロットルワイヤーを通します。
- スロットルレバー裏面の丸穴にスロットルワイヤー先端を入れ、溝にスロットルワイヤーを添わせて収めます。
- つぎに、スロットルケーブルを引き、スロットルケーブル先端の金具がスロットルレバーの根元の溝(穴)に収まるようにします。



- スロットルワイヤーがスロットルレバーにセットできたら、コードストラップでスロットルワイヤーをパイプに添わせ締付けて固定してください。

〈注意〉

エンジンからコードストラップまでのスロットルワイヤーはピンと張らず少し余裕をもたせてください。

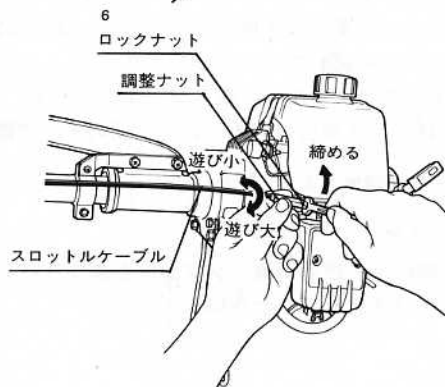


●スロットルワイヤーの遊び調整

- ロックナットを緩め、調整ナットを回してスロットルケーブルの遊びが0.5～1.5mmになるように調整します。
- ロックナットを締めます。

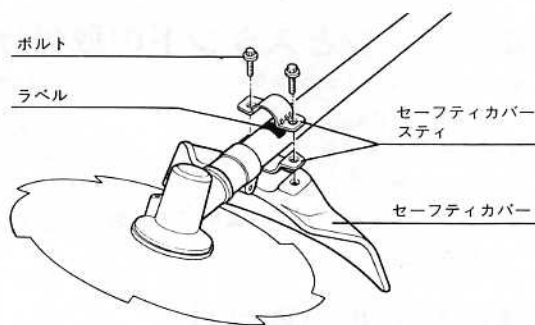
〈注意〉

スロットルケーブルに遊びがないと、エンジンのアイドル回転数が高くなり、刈刃が停止しなくなりますので、大変危険です。



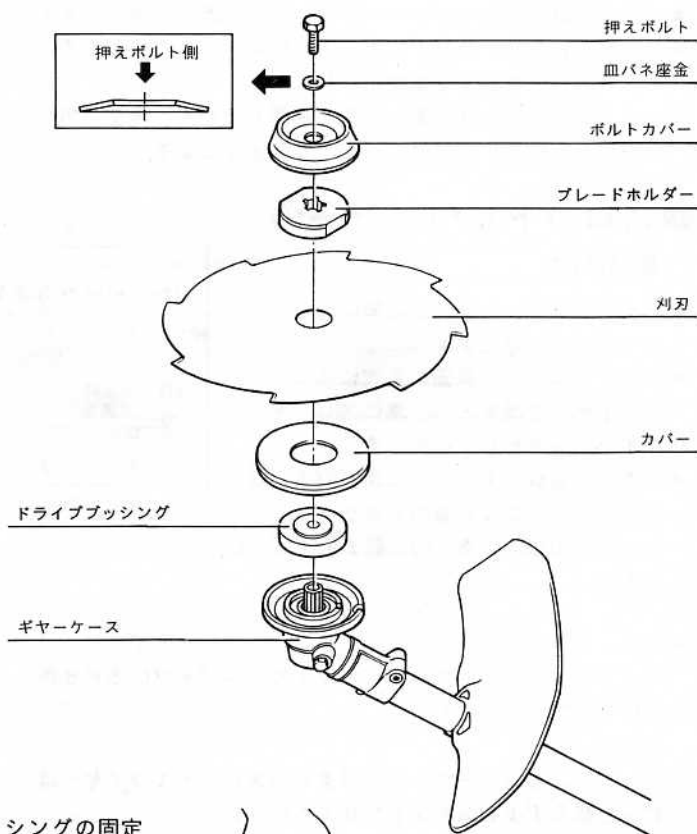
●セーフティカバーの取付け

- セーフティカバーステイは、カバー取付位置ラベルがかくれる位置とします。
- セーフティカバー本体とステイを2本のボルトで均等に締付けて固定します。



●刈刃の取付け

- 刈刃の取付けは、右図の順に取付けます。押えボルトへ組み付ける皿バネ座金は必ず図のような向きにしてください。



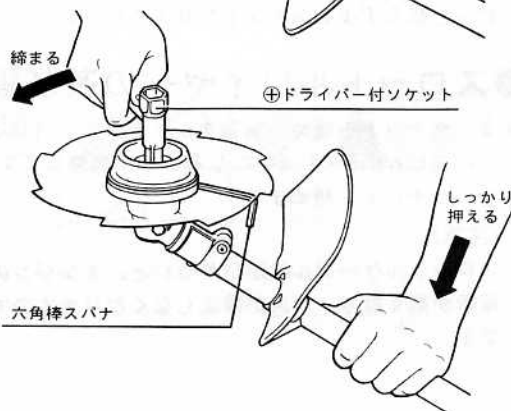
- 刈刃の取付けは、ギャーケースとドライブブッシングの固定用穴に付属の六角棒スパナを同時に通し固定、軸が回らないことを確認してから行って下さい。

- 刈刃の押えボルトは逆ネジ＝左ネジです。
(締付けは時計の針の回転とは逆の方向に回します。)

※参考締付トルク 1.5～2.0kg・m

〈注意〉

締付け、緩めの為、ソケットを操作される時は刈刃の刃先に十分注意してください。



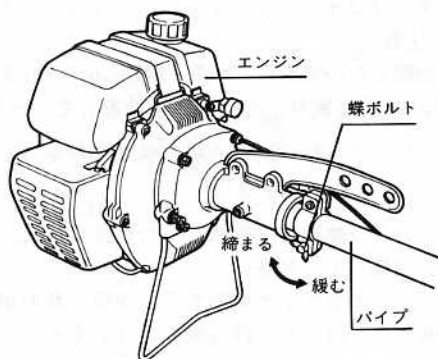
始動、運転、停止

正しい比率(ガソリン20～25に対し2サイクル専用エンジンオイル1)で混合された燃料を燃料タンクに入れてください。

※こぼれた燃料はふき取ってください。

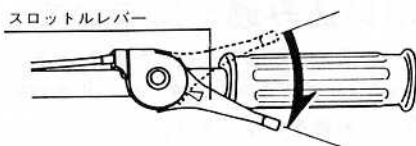
●始動

1. 蝶ボルトを締付けて、エンジンとパイプの回転をロック(固定)してください。(スイベルロック)

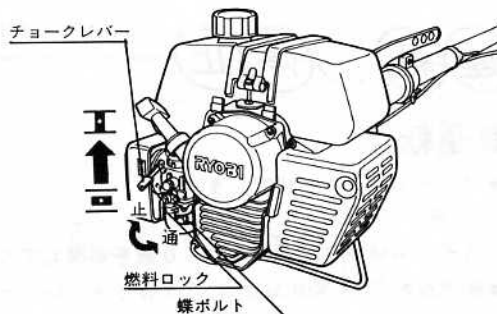


2. エンジンが手でさわられる位冷えている時。

・スロットルレバーを $\frac{1}{2}$ ～ $\frac{2}{3}$ 程度開いてください。



3. 燃料コックを「通」の位置にします。



※

4. チョークレバーを全閉の位置(Ⅰ)に上げてください。

・エンジンが暖まっている時(停止後、約15分以内)はチョークレバーの操作は不要です。

5. リコイルスタータ(ロープ)を、最初の爆発音がするまで素早く引いてください。

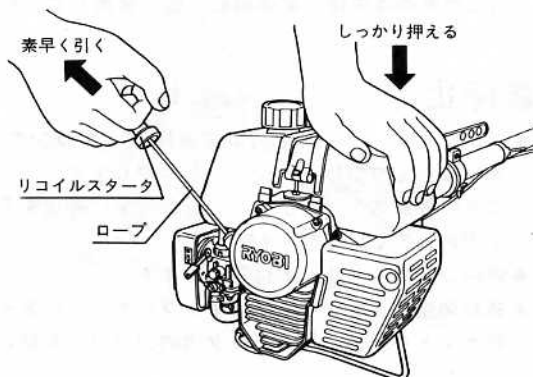
「ブルン」という爆発音がします。

(エンジンは、すぐ停止します。)

〈注意〉

リコイルスタータのロープの全長を確認した後、全長の8割位で使用するように心掛けてください。

全部を引いてかけますと、ロープを引きちぎる恐れがあります。



6. チョークレバーを全開の位置(☐)に下げてください。

再度リコイルスタータ(ロープ)を引いてエンジンを始動させます。

〈注意〉

始動しない場合は、前頁「始動」の※印(チョークレバーを全閉)の項に戻り、再度操作を繰返してください。

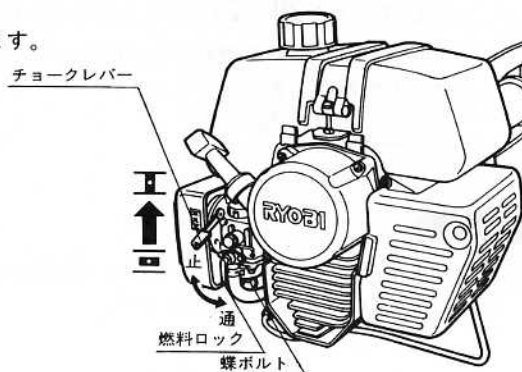
始動しましたら30秒くらい暖気運転をします。

〈注意〉

エンジン始動時は機械をしっかりと押え、周囲の人や物に十分注意してください。

また、エンジンが始動すると同時に刈刃が回転します。

刈刃のそばの石や障害物をさけてください。



●吸い込み過ぎについて

- 最初の爆発音が聞き逃がしたままで(チョークレバー全閉)リコイルスタータ(ロープ)を何回も引くと、吸い込み過ぎとなります。

この場合は、スロットルレバーを一杯に開き、チョークレバーも全開とした状態でリコイルスタータ(ロープ)をエンジンがかかるまで(10~15回くらい)素早く引いてください。

- マフラーから燃料が出てくるほどの大量の吸い込み過ぎの場合は、スロットルレバー、チョークレバーを全開とし、再度リコイルスタータ(ロープ)を約30~40回素早く引き、始動させます。

〈注意〉

エンジンが始動すると同時に高速で刈刃が回転します。直ちにスロットルレバーを戻し、回転を下げてください。

●運転、停止

●運転

- スイベルロックを解除します。

〈注意〉

スイベルロックについては、6頁を参照してください。

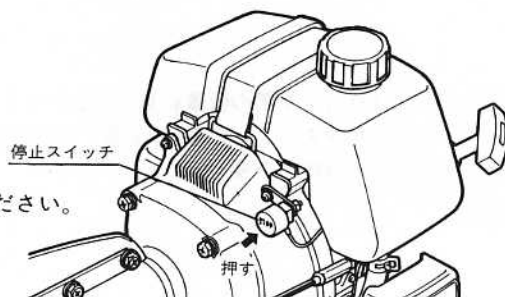
- 低速運転(アイドリング)からスロットルレバーを徐々に開きエンジンの回転を上げてゆきます。刈払作業をされるときは、エンジン回転を上げてから行ってください。

〈注意〉

刈払作業をしないときは高速回転をさせないでください。

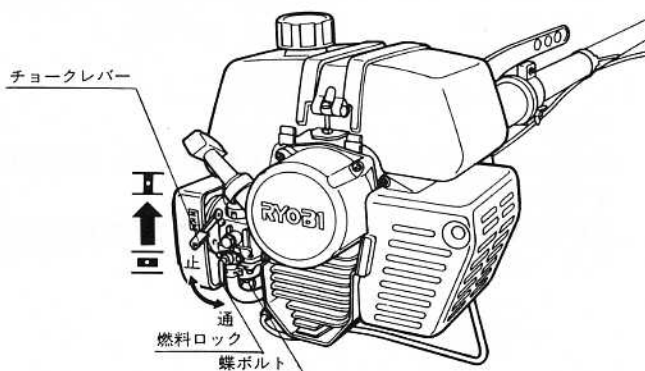
(空ふかし運転はしないでください。)

刈払作業時は中速~高速回転の間で使用してください。



●停止

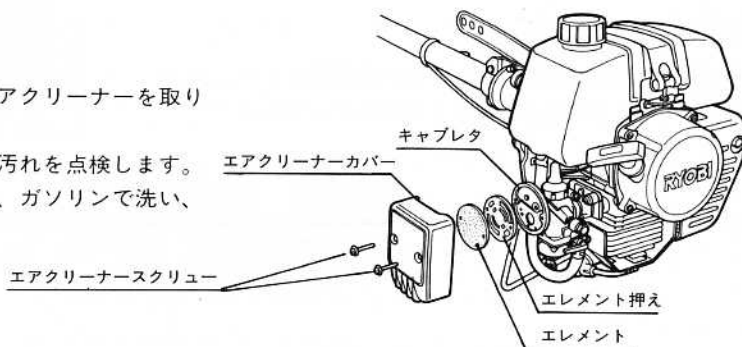
- スロットルレバーを戻し、低速運転(アイドリング)をしばらくつづけ、エンジンを冷やします。つぎに停止スイッチをエンジンが完全に停止するまで押してください。
- 燃料コックを「止」の位置にします。
- 長期間使用しない場合は、キャブレタの下にある蝶ボルトを緩め、キャブレタ内のガソリンを抜いてください。



点検と整備

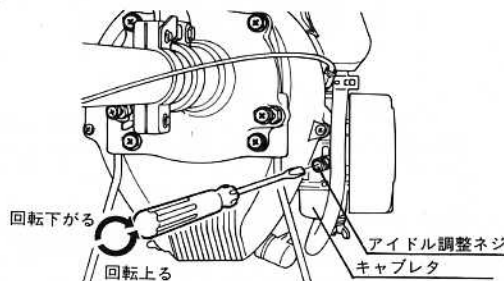
●エアクリナー

- エアクリナースクリューをはずし、エアクリナーを取りはずします。
- エレメント押えをはずし、エレメントの汚れを点検します。軽くゴミを払うか、汚れのひどいときは、ガソリンで洗い、乾いてから使用します。



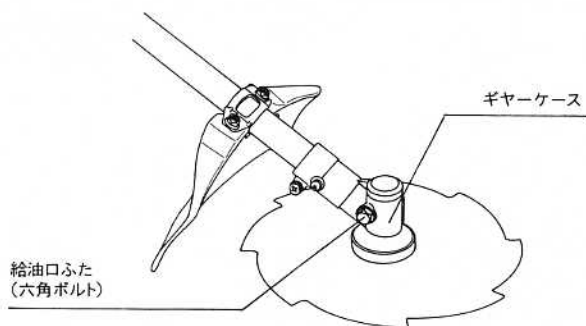
●気化器(キャブレタ)

- アイドル調整ネジ
アイドル調整ネジを左右に回し、低速回転を調整します。刈刃が回りはじめるやや前(停止状態)とし、且つ、エンジンが停止しない状態としてください。



●ギヤケースへの給油

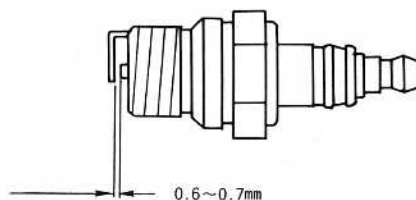
- 使用経過50時間前後に給油口ふたの六角ボルトを外し、給油してください。(グリス#2を使用してください。)



●スパークプラグ

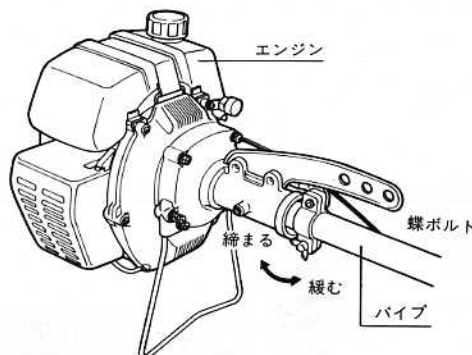
- スパークプラグの適正な電極間隔は0.6~0.7mmです。常に適正な間隔を保ち、カーボンや油などによる汚れに注意して清掃の上ご使用ください。

NGK BM-6A 又は チャンピオンCJ8を使用してください。



●スイベルロックについて

- エンジン始動時、およびエンジンが身体から浮いたような作業(上向き作業など)では、スイベルロックを使用してください。
- 蝶ボルトを締付けると、エンジンとパイプの回転がロック(固定)されます。
- 蝶ボルトを2~3回緩めると、ロックが解除されます。
〈注意〉
蝶ボルトを緩め過ぎると、エンジンの振動により蝶ボルトなどが脱落します。
- 通常の刈払作業ではロックを解除した状態で作業してください。

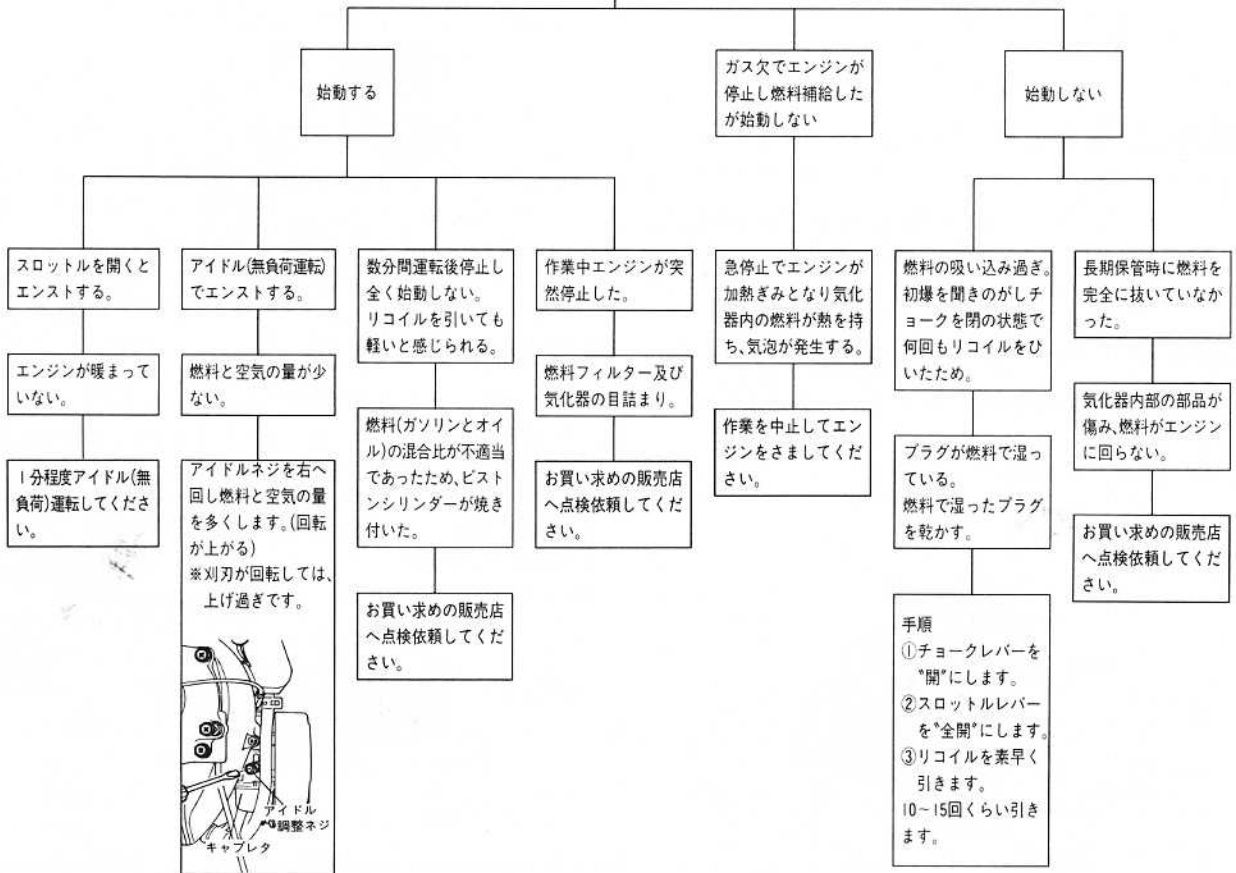


●刈刃について

- 欠け割れのある刈刃は、新しいものに取替えてください。
- 刈刃サイズは右の表を参考にしてお選びください。

種類	チップソー	丸のこ	8枚刃	4枚刃	ブラカッター
外径(mm)					
φ230	○	○			○
φ255	○	○	○	○	

エンジントラブル時のチェックリスト



発売元

 **リョービ販売** 株式会社
RYOBI

 **リョービ** 株式会社
RYOBI